

様式第1号（第7条関係）

飼い主のいない猫の不妊去勢手術費補助金申請書

年 月 日

伊達市長

申請者 団体名  
代表者氏名  
住所  
電話番号

1 手術に関すること

動物病院名	
所在地	
電話番号	
実施日時	

2 猫に関すること

適正管理を行う場所	伊達市
種類	<input type="checkbox"/> 雑種 <input type="checkbox"/> その他（ ）
毛色	
性別	<input type="checkbox"/> 雄 <input type="checkbox"/> 雌
特徴	

3 申請者とは世帯を別にする下記1名以上の確認により、所有者のいない猫であることを認めます。

確認者①	住所			
	氏名		電話番号	
確認者②	住所			
	氏名		電話番号	

【誓約事項】

私たちは、飼い主のいない猫の不妊去勢手術費補助金を申請するに当たり、次の事項に

ついて実施することを誓約します。

- 1 不妊去勢手術に当たって、市内で保護した所有者のいない猫であることを確認します。
- 2 不妊去勢手術には危険が伴うことを理解し、それらに伴う一切の問題について責任を負い、誠意を持って問題解決に努めます。
- 3 不妊去勢手術に当たっては、特別な理由があると認められる場合を除き、手術済みであることの目印として雄猫は右の、雌猫は左の耳介先端部の一部をV字型に切除します。
- 4 獣医師の判断により、不妊去勢手術を行わない場合があることを理解します。
- 5 不妊去勢手術を実施可能な診療施設を自ら確保し、その実施を依頼します。
- 6 診療施設と調整の上で、対象となる猫を捕獲し、搬入するとともに、手術等の実施後、誠意をもって当該猫を手術等の実施前の生息場所に戻します。
- 7 不妊去勢手術の実施後において、飼い主のいない猫を手術実施前の生息場所に戻すに当たっては、適正管理を図り、近隣住民の理解を得るように努めます。
- 8 不妊去勢手術を実施した猫のうち譲渡可能なものについては、終生屋内飼養をする者への譲渡に努めます。
- 9 上記に掲げる誓約事項のほか、不妊去勢手術等の実施について、市長が必要と認める事項を遵守します。

#### 写真貼付欄

手術の実施前における対象の猫の両耳を含む全体像が確認できる  
L版以上のカラー写真とする。※撮影日時が確認できる写真を用いること。